

【自分も相手も大切！】

2025年も最後の1ヶ月になりましたが、今年はどんな1年だったでしょうか？

子ども達もさまざまな経験や普段の生活から、心身ともに成長しましたね。

因みに、私達大人も成長してますよ！

さて、年度の初めに（5月末の保育参観）園と法人の事業計画をお伝えしていますが、覚えていらっしゃいますか？

今年度の西原のテーマは【相手の立場に立って考える】です。

昨年度が本間悦子園長で【Hi！挨拶から始まるコミュニケーション】だったので、それにプラスして『相手が今どんな状況なのか』『どういう風に対応したら相手が喜ぶ（助かる）か』を深く考えてみよう！という想いで、このテーマにしました。

私は西原では2年目になりますが、それまでとは随分違う部分がありました。

以前の中野りとるぱんぱきんずは80人定員でしたが、西原は倍以上の170人。

そのため職員数も倍以上おり、大人も子どもも全体的に活気があります。

“人数が多い”ということは、有難いことに外部の方からさまざまなお誘いをいただけます。

例えば今年も『ゆりーと』（2013年東京都で国体が行われ、東京都の鳥であるユリカモメがマスコットキャラクターになった）の来園、年長対象がほとんどですが『津軽三味線の演奏』『社交ダンス』『ピアノとバレエのパフォーマンス』斎場イベントへの出演など、文化的な行事へ参加する機会が多いです。

西原の子ども達は他園と比べると、とても恵まれていますね。

そのどの場面であっても、【明るい挨拶】や【相手の立場を考える】は関りが出てきます。

子ども達も演者さんには「こんにちは」「ありがとうございました」など必ず挨拶をします。

演じている間は歓声を上げたり、思いを言葉にしたり、楽しく参加しながら演者さんに自然な形で距離を保っています。

子どもも【相手を重んじる】が出来るんですね。

普段の保育の中でも『お次の人のために整えて戻す』ことを、子ども達に伝えています。

例えば室内活動で、自分が使った教具など片付ける際に『次の人を使いやすいように戻す』よう声掛けをしています。（カモミールでも同様に接しています）

ランチルームのトレーも、何かこぼしてしまったら布巾で拭いて戻す、床や机にこぼした時は

“こぼし紙”という新聞紙で拭き取って捨てる（布巾で拭く）を行っています。

もちろん全て出来るわけではありませんが、子どものうちから「自分を大切に思うように、相手も重んじる」を伝えています。

皆さんも仕事や普段の生活の中で、この2つは常に身近にあると思います。

それを改めてテーマにしたのは、職員の間・子ども（保育）・保護者・その他、人との繋がりの中で「もう一步、心の深い部分に落とし込んで感じて欲しい」という想いがあったからです。

人が成長するには、人からの影響も大きいですから、【相手のことも考えつつ】共有・共存することを心に留めたいと思います。

今年度はあと4ヶ月あります。いただいている貴重な出会いを大切に、大人も子どもも楽しく平和に過ごせるよう、皆で手を取り合いましょうね！

（加賀谷）